10 富三博士の詩

富三博士は、詩もつくりました。
自然をこよなく愛し、人生をするどい目でとらえる博士の詩は、
多くの人々から共感をよび親しまれました。

蜘蛛の子よ

明るい九月の朝の便所
便器のふたの
真白いエナメルの平面の上で
生まれたばかりの
米粒よりも小さい
緑色の蜘蛛の子が

しきりに
方向をさぐっては
考へてゐる
——なるほど　むづかしいだらうな
蜘蛛の子よ
君の今ゐる所は
天然ではないのだ
人間の造ったものだ
君たちとは無関係に
君たちの都合は何も考へずに
人間が